

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		3-	1
事業名	財政管理経費	会計	款	項	目
		一般	2	1	3
施策	6 語らいのあるまち	課名	財政課		
	6-4 行財政運営の充実したまちをつくる	係名			
	6-4-2 町民サービスの向上				
主要施策	①健全な財政基盤の確保		②効果的・効率的な財政運営の推進		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	少子化及び高齢化の進展から、税収の伸び悩みや歳出の内の義務的経費の増加により財政は硬直化することが見込まれる。町民が安心して住み続けられるような町政運営を行える、持続可能な健全財政を図る。
事業内容	財政運営事務・・・厳しい財政状況下において、限られた財源を有効に活用するために、予算編成において事業の有効性や優先順位を精査し、より効果的・効率的な予算計上に取り組む。また、財政状況、事業の内容、統一的な基準による財務書類を公表することで予算の透明性を図る。また、行政課題におけるプロジェクトチームを立ち上げ、庁内の横断的な検討についての取り組みを行い、財政健全化を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	経常収支比率	86.1	87.2	未	%	↓	80
2								
3								
4								
5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			17,647		17,956		18,000	
財源内訳	直接事業費 A		1,807		1,786		1,830	
	うち一般財源		1,807		1,786		1,830	
人件費 (千円) B			15,840		16,170		16,170	
内訳	一般職員 (人・千円)		2.40		15,840		2.45	
	臨時職員 (人・千円)		0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	C 対象が広すぎる
					コストの削減	C 削減の余地が大きい
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	財政健全化に係る補助金等の見直しについて、その案を策定し議会等へ説明する。また、次年度予算へ見直し案を反映させていく。	③取組の課題	補助金等の見直しについては、毎年、評価検証を行い、状況を把握していく必要がある。また、まちづくりに資する新たな交付金制度を構築する必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	補助金等の見直し案に基づいて、その対象となった補助金等については、令和3年度の当初予算に反映させた。	④今後の改善計画	新たに創設する交付金については、プロジェクトチームを設置し、集中的に取り組む必要がある。また、使用料減免等についても同様である。